

**政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり**

**施策 02 地域医療・福祉医療の推進**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
病气やケガの際に安心して医療が受けられるまちになっています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	地域の医療機関を安心して利用している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		【健康課】	91.9	93.9	-	95
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 高度医療体制の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	高度医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況)本市では、5km圏内に第3次救急医療施設が2病院(公立陶生病院、愛知医科大学病院)、第2次救急医療施設が1病院(旭労災病院)がある。 (原因)いつでも高度医療を受けられる位置的好条件がある。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

## 基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急のときに瀬戸旭休日急病診療所で医療を受けられていることを知っている市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	78.7	69.5	-	80	(比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(...)

## 基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況)第1次医療では瀬戸旭休日急病診療所、第2次医療では旭労災病院、第3次医療では陶生病院や愛知医科大学病院があり、5km圏内で救急医療を受けられる体制が確保されている。 (原因)救急医療を受けられる位置的好条件がある。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

## 基本事業03 かかりつけ医制度の普及

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	71.8	65.7	-	80	(比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(...)

**基本事業04 福祉医療費の助成**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	各種助成の年間助成件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	304,621	286,431	307,138	-	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より増加した (原因) 助成件数は、障害25,806件の対前年比+7.26%、精神25,480件の対前年比+5.70%、指定難病57件の対前年比-9.52%、子ども192,696件の対前年比+9.16%、母子父子15,941件の対前年比+2.33%、マル福47,105件の対前年比+2.28%で、全体の件数としては+20,707件の対前年比+7.23%となり、指定難病を除いた医療費で増加している。特に子どもと障害の対前年比が高くなっている。また、未熟児養育医療も、対前年比+29.27%（件数：令和3年度41件、令和4年度53件）ほど増加している。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 (---)

**基本事業04 福祉医療費の助成**

指標	(参考：各種助成の年間助成金額) (千円)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	841,529	811,158	866,110	-	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より増加した (原因) 全体の医療費の助成額は、対前年比+6.77%と増加している。精神は対前年比-1.62%となったものの、障害は対前年比+7.32%、子どもは対前年比+10.14%、母子父子は対前年比+3.51%、マル福は対前年比+0.27%となり、特に子どもの対前年比が高くなっている。1件当たりの助成額としては、指定難病が最大の対前年比+3.93%となっている。また、未熟児養育医療の助成額は、対前年比+48.92%（助成額：令和3年度3,884千円、令和4年度5,784千円）ほど増加している。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 (---)

**基本事業04 福祉医療費の助成**

指標	福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合（%）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	19.0	18.7	21.3	-	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より増加した (原因) 令和3年度と比較して2.6ポイント増加となっている。福祉医療受給者数は、母子父子医療で減少しているものの、障害、精神、子ども医療で増加している。特に子ども医療は、+18.5%となっている。マル福はあまり変化がなかった。福祉医療費受給者数と申請者数の年平均：R3年度15,712件・R4年度17,889件 2,177人増加、総人口（10/1現在）：R3年84,091人・R4年83,925人 166人減					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 (---)

**基本事業05 国民健康保険の健全な運営**

指標	国民健康保険被保険者の1人あたりの年間医療費（千円）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	334	360	384	-	(比較不可)
評価	(状況) 令和3年度と比較して23,869円増加した。 (原因) 療養給付費は受診率が3.5%、1人当たり費用額が6.6%増加した。（1人当たり費用額：入院+11.7%、入院外+5.9%、歯科+3.9%、調剤+0.3%、食事療養+5.2%、訪問看護+14.9%）療養費は1人当たりの費用額で遡り申請等の診療費が+74.8%、補装具が+2.8%、柔整が+8.8%、あんまが+0.5%、鍼灸が+19.5%、全体で10.9%増加した。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達 成 度 (---)

**基本事業05 国民健康保険の健全な運営**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	国民健康保険税収納率の県平均収納率との差 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【保険医療課】	1.67	1.69	1.34	県平均以上
評価	令和4年度の市収納率は96.32%で、県平均収納率(38市平均)94.98%を1.34ポイント上回った。 (市収納率:平成30年度95.95% 令和元年度96.00% 令和2年度96.14% 令和3年度96.70% 令和4年度96.32%) (原因)新型コロナウイルス感染症の影響による減免対象世帯が減少したため、前年度を0.38ポイント下回ったものの、高水準を維持している。					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)